

【モスピラン®・トップジン®Mスプレー】2015年2月18日作成 モスピラン、トップジンは日本曹達(株)の登録商標
 実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←この色の部分が2009年5月13日付けで変更になりました。

〔適用病害虫と使用方法〕

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	総使用回数※	使用 方法
トマト	アブラムシ類 コナジラミ類 葉かび病	原液	収穫前日 まで	本剤：2回以内 アセチムプリド：4回以内（粒剤の定植時 までの処理は1回以内、散布、くん 煙及び定植後の株元散布は合計3回 以内） チオファネートメチル：6回以内（種子への処 理は1回以内、は種後は5回以内）	希 釈 せ ず の ま ま 散 布 す
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 うどんこ病 炭そ病			本剤：3回以内 アセチムプリド：5回以内（粒剤の定植時 までの処理は1回以内、2%粒剤の 定植後の株元散布は1回以内、散布、 くん煙及び1%粒剤の株元散布は合 計3回以内） チオファネートメチル：6回以内（種子への処 理は1回以内、は種後は5回以内）	
なす	アブラムシ類 コナジラミ類			本剤：3回以内 アセチムプリド：4回以内（粒剤の定植時 までの処理は1回以内、散布、くん 煙及び定植後の株元散布は合計3回 以内） チオファネートメチル：6回以内（種子への処 理は1回以内、は種後は5回以内）	
ばら	アブラムシ類 うどんこ病 黒星病		発生初期	本剤：5回以内 アセチムプリド：5回以内 チオファネートメチル：5回以内	
きく	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ 褐斑病 黒斑病				
シンビジウム	アブラムシ類 炭そ病				
プリムラ	アブラムシ類 灰色かび病				
花き類・観葉植物 （きく、ばら、プ リムラ、シンビジ ウムを除く）	アブラムシ類				

【効果・薬害等の注意】

- 使用前に容器をよく振ってください（沈殿）。
- そのまま散布できるように調製してあるので、希釈せず散布してください。
- まきむらのないように均一に散布してください。

- きゅうりでは、幼苗、軟弱徒長苗など、及び高温・多湿時には葉縁に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 重複散布や多量散布は薬害を生ずるおそれがあるので注意してください。
- 連続使用によって薬剤耐性菌が出現し効果の劣った事例があるので、過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】マスク着用

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 人に向かって噴射しないでください。
- かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- 使用時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- 蚕に影響がありますので注意して使用してください。
- 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

治療法：アセタミプリドには、L-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効です（動物実験で報告）。